

様式

委員会規則第3条第1項に基づく届出書

平成30年10月9日

1. 執行機関の別	1: 都道府県知事・市区町村長等
	<input checked="" type="radio"/> 知事 <input type="radio"/> 市区町村長等
2. 都道府県名	兵庫県
3. 市区町村名	
4. 届出番号	10
5. 独自利用事務の事例番号	120-2
6. 届出書を公表しているウェブページのアドレス	http://https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk23/mynumber_dokujiriyou.html

執行機関名 兵庫県知事

不妊治療費用の補助に関する事務

1. 準ずる法定事務の名称と趣旨又は目的の内容等

	(1) 法定事務	(2) 独自利用事務
①事務の名称	難病の患者に対する医療等に関する法律による特定医療費の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	特定不妊治療(体外受精又は顕微授精による不妊治療をいう。)に要する費用に係る助成金の支給に関する事務であって規則で定めるもの
②番号法別表第1の項	98	
③番号法別表第2の項	120	
④番号法第9条第2項に基づき定める条例の名称及び①の該当部分		個人番号の利用、特定個人情報の提供等に関する条例 別表第1 1の款<5>の2の項 特定不妊治療(体外受精又は顕微授精による不妊治療をいう。)に要する費用に係る助成金の支給に関する事務であって規則で定めるもの
⑤事務の趣旨又は目的が規定されている箇所	難病の患者に対する医療等に関する法律(平成26年法律第50号)第1条	兵庫県特定不妊治療費助成事業実施要綱の第1
⑥事務の趣旨又は目的	この法律は、難病(発病の機構が明らかでなく、かつ、治療方法が確立していない希少な疾病であって、当該疾病にかかることにより長期にわたり療養を必要とするものとなるものをいう。以下同じ。)の患者に対する医療その他難病に関する施策(以下「難病の患者に対する医療等」という。)に関し必要な事項を定めることにより、難病の患者に対する良質かつ適切な医療の確保及び難病の患者の療養生活の質の維持向上を図り、もって国民保健の向上を図ることを目的とする。	第1 この要綱は、特定不妊治療は治療費が高額であり、その経済的負担が重いこと、十分な治療を受けることができず子どもを産むことを諦めざるを得ない夫婦も少なくないことから、特定不妊治療費に要する費用の助成に関して必要な事項を定め、その経済的負担の軽減を図ることを目的とする。
⑦独自利用事務の関連規範		兵庫県特定不妊治療費助成事業実施要綱